

01 新庁舎移転に際する期待

早稲田大学総長・  
沖縄振興審議会会長 白井克彦

特集

総務部

02 沖縄総合事務局庁舎(那覇第2地方合同庁舎2号館)完成  
沖縄振興の拠点を目指して3月に庁舎移転

仕事の窓

08 仕事の窓 経済産業部 地域資源活用プログラムに係る事業計画第2号認定について

09 仕事の窓 運輸部 グリーン物流パートナーシップ

10 仕事の窓 開発建設部 これからの那覇空港に向けて

12 仕事の窓 開発建設部 いよいよ供用 那覇空港自動車道 豊見城東道路

14 仕事の窓 開発建設部 沖縄国際物流戦略チーム第三回会合 提言とりまとめ

局の動き

農林水産部 情報交流モニター等交流会を開催

運輸部 平成19年度海洋汚染防止講習会の開催

経済産業部 新エネルギー事業導入促進セミナー

開発建設部 日本風景街道(琉球歴史ロマン街道「宿道」)について

開発建設部 沖縄東部河川総合開発事業(億首ダム)他3件「妥当」

18 なかゆくい \*シリーズ ~財政融資資金ってなあに?~

20 内閣府だより 先島地区地上デジタル放送推進事業について

21 お知らせ

沖縄の  
 伝統的工芸品 #6

読谷山ミサー

よみたんざんみんさー

(登録商標)



産地組合:

読谷山花織事業協同組合  
(昭和51年6月2日伝産指定)

伝統的工芸品とは

伝統的技術又は技法によって製造された工芸品で経済産業大臣が指定したものをいいます。沖縄には13品目が指定されています。

URL:

<http://ogb.go.jp/move/densan/okinawaindex.htm>



読谷山ミサーは、「グーシ花織」とも呼ばれ、読谷山花織と同様(1・2月号に掲載)琉球王府が長浜港を拠点として南方諸国と交易を行い、南方文化を積極的に取り入れた15世紀初め頃から織られたと言われています。一時生産が途絶えていましたが、古老により復活されました。

ミサーの名前の由来は「ミ」は木綿、「サー」は狭いという意味であり、藍染で幅10cmほどの綿の細帯を指しています。竹串を使って浮かせたい部分の経糸をすくい、紋を作る「グーシバナ」という技法で、風車や花・縞柄を組み合わせで織られます。両端の模様は「ムカデの足のように足繁く私のもとへおいで下さい」という織り手の願いが表現されていると言われています。

今日では、生活様式に対応したネクタイ、インテリアなどの製品が生産されています。

